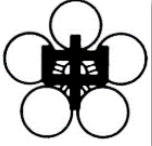


<校訓>白梅の においゆたかに 明るく強く 毎日必ず 一歩前進



輝く未来へ

教育目標「自ら学び 創造する生徒」「豊かな心で 思いやりのある生徒」「ねばり強く 健康な生徒」

板橋区立加賀中学校
学校だより
平成 30 年度 第 18 号
平成 31 年 1 月 9 日
校長 水谷 智子

『目的と目標』

～三学期始業式式辞から～

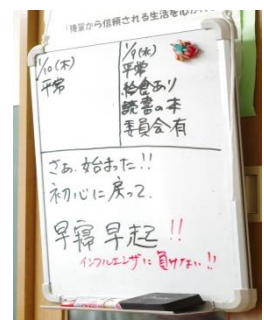
明けましておめでとうございます。穏やかな年明けでした。2019 年が皆さんにとって良い年であることを願っています。一年の計は元旦にありと言われますが、「今年はこの年にしよう！」と目標を立てた人も多いと思います。学校でも三学期の目標を立てます。目標を立ててそれをクリアしようと努力する生活は張り合いがあるものです。「ポーっと過ごす」ことの無いように、皆さんには、是非、目標をもった生活を送ってもらいたいと思います。

加賀中にも目標があります。各教室に教育目標を掲げていますが、皆さんは覚えていますか？ 「自ら学び、創造する生徒」「豊かな心で、思いやりのある生徒」「ねばり強く、健康な生徒」です。実は、この教育目標には前文があるのです。『人権尊重の精神を基調とし、平和的な国家及び社会の形成者として国際的視野をもって行動できる人間の育成を目指し、健康で豊かな人間性と社会性を育み、生涯にわたって学習する意欲と能力を培うため、次の目標を掲げる』この前文には、この教育目標を何のために掲げているのか、つまり、加賀中の教育の「目的」が書かれています。

目的と目標は、一見似ているようですが、実は違います。「目的」は目指すゴール、「目標」は目的に達するための道しるべと考えると違いが分かりやすいでしょう。皆さんは、学習や生活、部活動など、色々なことについて、「目標」を立てて取り組んでいるわけですが、「目的」によって目標に対する取り組み方は違ってきます。例えば、「次の単語のテストで 100 点をとる」という目標を立てたとします。「将来、英語を使った仕事に就けるよう、英語の力をつける」のが目的の A さんは、一生懸命勉強してしっかり単語を覚えて目標をクリアしました。「100 点をとって親にゲームを買ってもらおう」のが目的の B さんは、カンニングをして目標をクリアしました。同じ目標達成でも、その後の人生にとっては、全く意味が違ってきますね。目標を立てることは大切ですが、その前に、目的をしっかりと見据えておくことが大事です。物事に取り組む時は、ただ「やればよい」というのではなく、何のためにそれをするのか、目的意識をしっかり持ち、良い目的、自分を高める目的を達成するために、自分の時間を使ってほしいと思います。

3 年生の皆さんは、これから受験期に入ります。「志望校に合格する」のが目標になるかと思いますが、思うように成績が伸びなかったり、迷いや不安が出てきたりするかもしれません。そんなときは、魔法の呪文「そもそも」とつぶやいてみてください。「そもそも、何のためにこの学校に入りたいと思ったのか」と。原点に立ち戻って、自分が達成しようとしていた「目的」を思い出してみましょう。そうして、その目的が達成できた自分を想像すれば、モチベーションが上がるはずです。

1・2 年生の皆さん、三学期は一年間のまとめの学期ですが、来年度に向けての準備の学期でもあります。2 年生は 3 年 0 学期、1 年生は 2 年 0 学期です。池の周りの白梅の木も、今は葉を落としていますが、枝の先には小さな花芽がついています。これから一層寒さがきびしくなりますが、健康に留意しながら、各自が立てた目標に向かって努力を重ね、頭も心も体も鍛えていきましょう。。



◎面接練習を終えて

12月に3年生を対象に面接練習を行いました。面接は入試だけでなく、社会人として生活する中で様々な場面で行われます。これからのAI社会では、一層その重要性が増してくるでしょう。練習を通して気づいたことは以下の通りです。4点ありますが、どれも日頃の学校生活や家庭での日常生活をしっかりと送ることで、自然に身に付いていくことです。毎日の生活そのものが、進路を拓く力につながることを意識して、一日一日を大事に過ごしましょう。

① 第一印象が大切！

面接会場に入ってから椅子に座るまで、高々数十秒ですが、一つ一つの動作や挨拶の仕方、挨拶の声で、第一印象が決まります。第一印象が良いとその後の面接もスムーズに進みます。「人は見た目で判断してはいけない」のですが、短時間の面接では見た目の印象がカギを握ることも確かです。普段何気なくやっている仕草や話し方が無意識に出てきます。家での生活態度、部活動や授業前後の挨拶や職員室に入室する時の挨拶など、毎日やっていることが行動に表れることを覚えておきましょう。

② 語るべき中身を持っているか？

面接では、中学校時代のことが話題になることがあります。中学校時代に何かに一生懸命取り組んだ人は、具体的に話をするすることができます。部活動や委員会活動、行事など、「何をやったか」だけでなく、「どのように取り組んだか」を語れるように。そして、そこから学んだことや身に付けたことを語れるように。そのためには、毎日の学校生活を充実させ、何かに取り組んだ後には、「何ができるようになったか」「何を学んだか」「どう生かしていくか」「課題は何か」など自分自身で振り返りをする習慣をつけると良いでしょう。

③ 自分の考えを持っているか？

面接では、「〇〇について、あなたはどのように思いますか？」など、思考力や判断力を問う質問もあります。社会に出た時に求められるのは、言われたことを覚えてそのまま動く「受け身」

の姿勢ではなく、情報を分析して自分で考え判断して適切に行動する「主体的」な姿勢です。自分はどうか、自分ならどうするかということに常に意識して生活することで、主体的な姿勢が身に付きます。日頃の授業の中で、自分の考えを書いたり、発表したりしていると思いますが、授業に臨む姿勢を今一度見直し、「自分」を持てるようにしましょう。

④ どう伝えるか？

話せる中身はたくさんあっても、うまく表現できないと、相手には伝わりません。知らない人と話すのは緊張することですが、緊張する場面でも平常心で話ができるようにならなくてはなりません。そのためには、緊張する場面を数多く経験すること、場数を踏むことが必要です。人前に立って話をしたり、試合や大会に出て追い込まれる場面を乗り越えたりすることで、だんだん度胸が付いてきます。アイコンタクトを意識して、相手の目を見て話せるようになると伝わり方が違ってきます。「目は口ほどにものを言う」と言われますが、表情や動作からその人の本心が伝わります。是非、色々な場でコミュニケーションすることを経験してください。

◎校内書初め展

冬休みの課題だった書初めを各クラスで掲示しています。1年生は「青雲大志」、2年生は「新春の夢」「調和の美」、3年生は「輝く前途」「夢抱く早春」。学校全体に初春らしい雰囲気が出ています。



保護者・地域の皆様、明けましておめでとうございます。
教職員一同、生徒一人一人を大切にして教育活動に邁進いたします。本年も加賀中学校にご支援ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

